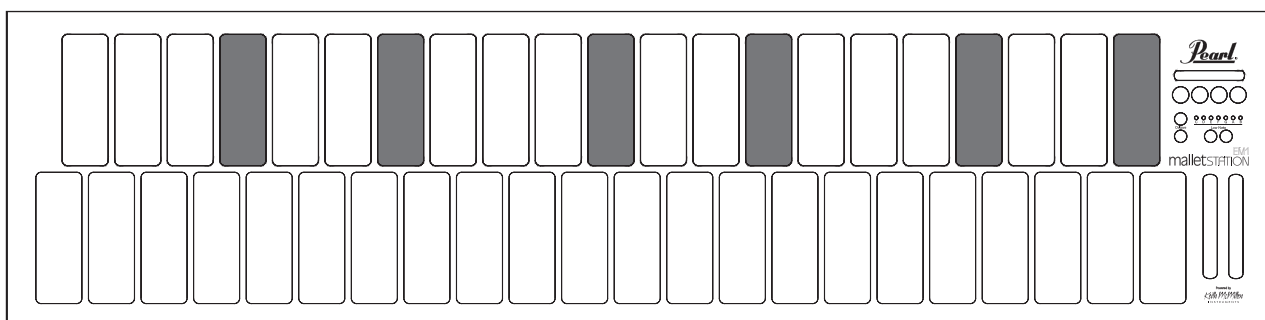


Pearl

malletSTATION™



クイックスタート・ガイド

はじめに

Pearl EM-1 malletSTATIONマレット・キーボード・コントローラーのご購入、ありがとうございます。この、3オクターブの音域を持つオクターブ域可変のUSB MIDIマレット・コントローラーは、お使いのPCやMac、iOSあるいはAndroid機器と簡単に接続してご使用いただけるように設計されています。

malletSTATIONのキーはソフト・シリコン製で、コンパクトで持ち運びに便利なサイズでありながら、鍵盤打楽器を演奏する感覚が味わえます。

様々なプレイヤーを想定して設計されたmalletSTATIONには、様々な機能が割り当てられる3個のフェーダーと4個のボタン、3個のペダル入力があり、ソフトウェアの高度な操作が可能です。malletSTATIONはクラス・コンプライアントUSB MIDI機器で、プラグ＆プレイに完全対応していますが、操作や機能について正しく理解していただくために、このガイドをお読みいただくよう、お勧めします。

同梱品

EM-1 MalletSTATION本体、長さ3mのUSB A to Bケーブル、ギャップ・キャップ6個、機器のユーザー登録とソフトウェアのダウンロード先を記したクイックスタート・ガイド(本書)。

MIDIについての簡単な説明

EM-1 malletSTATIONはMIDIコントローラーの一種で、本体は音源を内蔵していません。

音源にはMacやPC、iOSやAndroid機器など、お好みのものを使用します。MIDIを受信できるアプリなら、どれもmalletSTATIONと一緒に使えます。

音を再生するには、音源として使用する機器のヘッドフォン端子などにスピーカーやヘッドフォンを接続すれば、ほとんどの場合は間に合います。最高の音質で再生するためには、外部オーディオ・インターフェイスの使用をお勧めしますが、常に必要というわけではありません。

サポート

EM-1 malletSTATIONエディター・ソフトウェアやサウンド・ライブラリーのダウンロード、取扱説明書、動作環境、サポート、製品登録などを含み、本製品についての最新情報は、ウェブサイト

pearl-electronics-support.com/ で確認してください。

ソフトウェア・エディターやファームウェアのアップデートを常時ご利用になれるように、ウェブサイトのURLをブックマークしておくことをお勧めします。

推奨ソフトウェア

PreSonus社製Studio One

PreSonus社製のMac、PC機器用Studio Oneには、malletSTATION用のサウンド・ライブラリーのシリアルナンバーが含まれています。このシリアルナンバーは、pearl-electronics-support.com/ およびmy.presonus.comで機器の登録を行うと確認できます。

malletSTATIONの接続

EM-1 malletSTATIONは、USB経由でコンピューターやモバイル機器に接続すると電源が入ります。

malletSTATIONは、機器に直接か、あるいは外部電源供給型のUSBハブに接続することをお勧めします。

USBケーブルは、電源の供給と、コンピューターやモバイル機器とのMIDIデータの送受信の両方の役割を果たします。

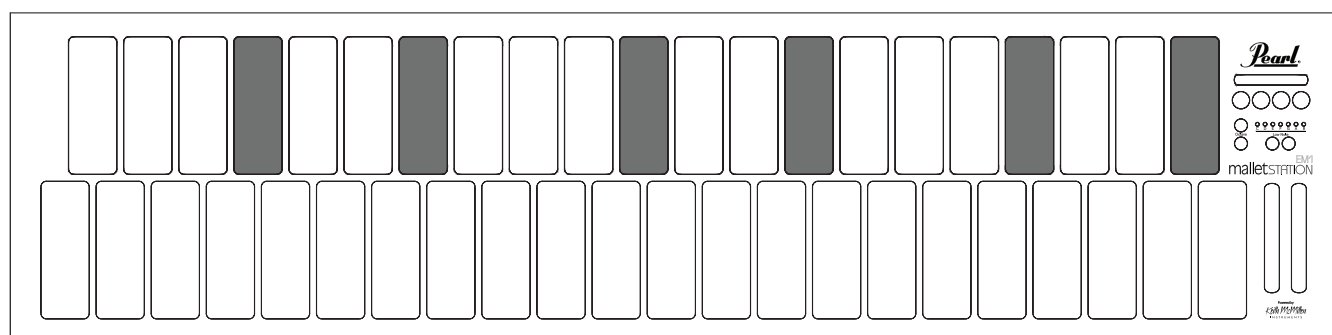
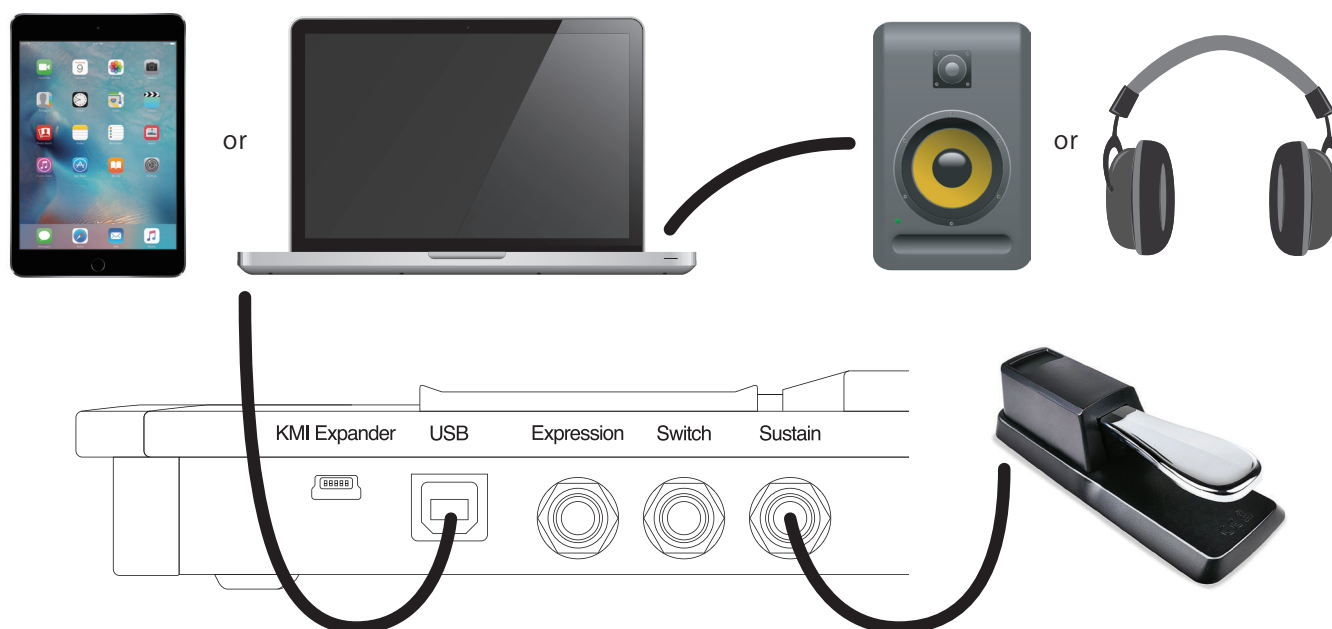
参考：EM-1 malletSTATIONをiOS機器に接続する際には、別売りのApple社製Lightning to USBカメラ・アダプターをお勧めします。

重要！

malletSTATIONを接続する際には、楽譜やマレット、ヘッドフォンなどの物を本体の上に置かないようにしてください。

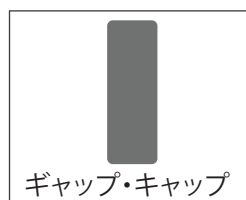
本体は、接続される度にバー・センサーのキャリブレーションを行います。また、本体の姿勢は、演奏する間も本体を接続した時と同じに保つようにしてください。

基本的な接続図



初期状態のギャップ・キャップの位置

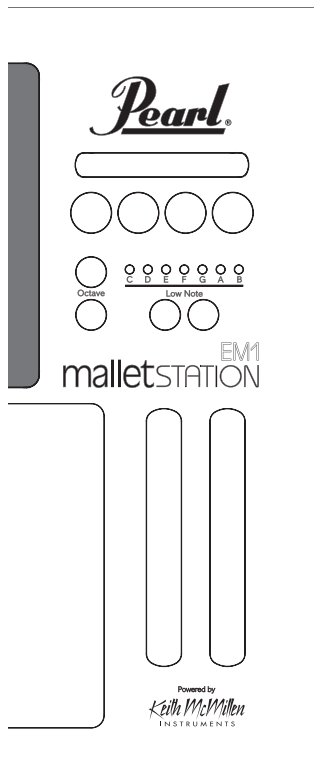
初期設定のF-Fモードに合わせて、ギャップ・キャップは上図の位置に配置してください。
本体の電源投入時には、この設定になります。



使用方法

malletSTATIONは、多くの鍵盤打楽器用マレットやドラム・スティックなど、様々な手段で演奏できるように設計されています。とはいえ、本機はあくまでも電子楽器ですから、異常な強さで叩くなど、本体に損傷を与えるような状況での使用は避けてください。malletSTATIONの演奏には、標準的なマレットやスティックが最適です。

主な機能—トップ・パネル



オクターブ・ボタン

malletSTATIONには2個のオクターブ・ボタンがあります。これらによって、楽器の音域を初期設定の状態から上下に2オクターブ分移動させることができます。それぞれのボタンは、移動量が1オクターブの時には緑色、2オクターブの時には赤色に点灯します。

ロー・ノート・シフト

これらのボタンは、ダイアトニックの最低音を変更するためのものです。必要に応じて最低音を設定し、選択したスケールの黒鍵の位置に合わせてギャップ・キャップの取り付け位置を変えてください。この設定は、ソフトウェア・エディターで変更しない限り、電源を投入する度に初期状態のF-Fに戻ります。（7種類全ての最低音設定に対応するギャップ・キャップの位置については、取扱説明書を参照してください。）

3個のアサインابل・フェーダー

初期状態では、3個のアサインابل・フェーダーは以下のコマンドに割り当てられています。

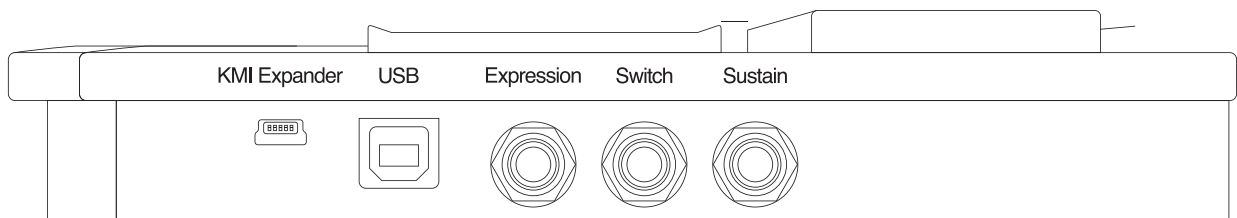
バーチカル・フェーダー1 -- モジュレーション
バーチカル・フェーダー2 -- ピッチ・ベンド
水平ソナル・フェーダー -- 割り当て可能 (cc20)

4個のアサインابل・ボタン

初期状態では、4個のアサインابل・ボタンは以下のコマンドに割り当てられています。

ボタン1 -- MIDIノート64、10チャンネル
ボタン2 -- MIDIノート65、10チャンネル
ボタン3 -- MIDIノート66、10チャンネル
ボタン4 -- MIDIノート67、10チャンネル
※これらの割り当ては、ソフトウェア・エディターで変更できます。

主な機能—端子パネル



KMI Expanderポート

このポートは、Keith McMillen Instruments社製のMIDI Expander専用です。この端子についての詳細は、取扱説明書を参照してください。注意：これは標準的なUSBポートではありません。したがって、コンピューターとの接続には使用できません。

USBポート

このポートは、malletSTATIONをコンピューターやモバイル機器と接続するためのもので、これを通じて電源の供給とMIDI情報の送受信が行われます。

3個のアサインابل・ペダル入力

初期状態では、3個のペダル入力はそれぞれ以下のコマンドに割り当てられています。

Expression入力 -- エクスプレッション・ペダル (cc11)

Switch入力 -- ソフトウェアで割り当て可能 (cc21)

Sustain入力 -- 内部のサスティーン (初期状態ではcc64コマンドは送信されません)

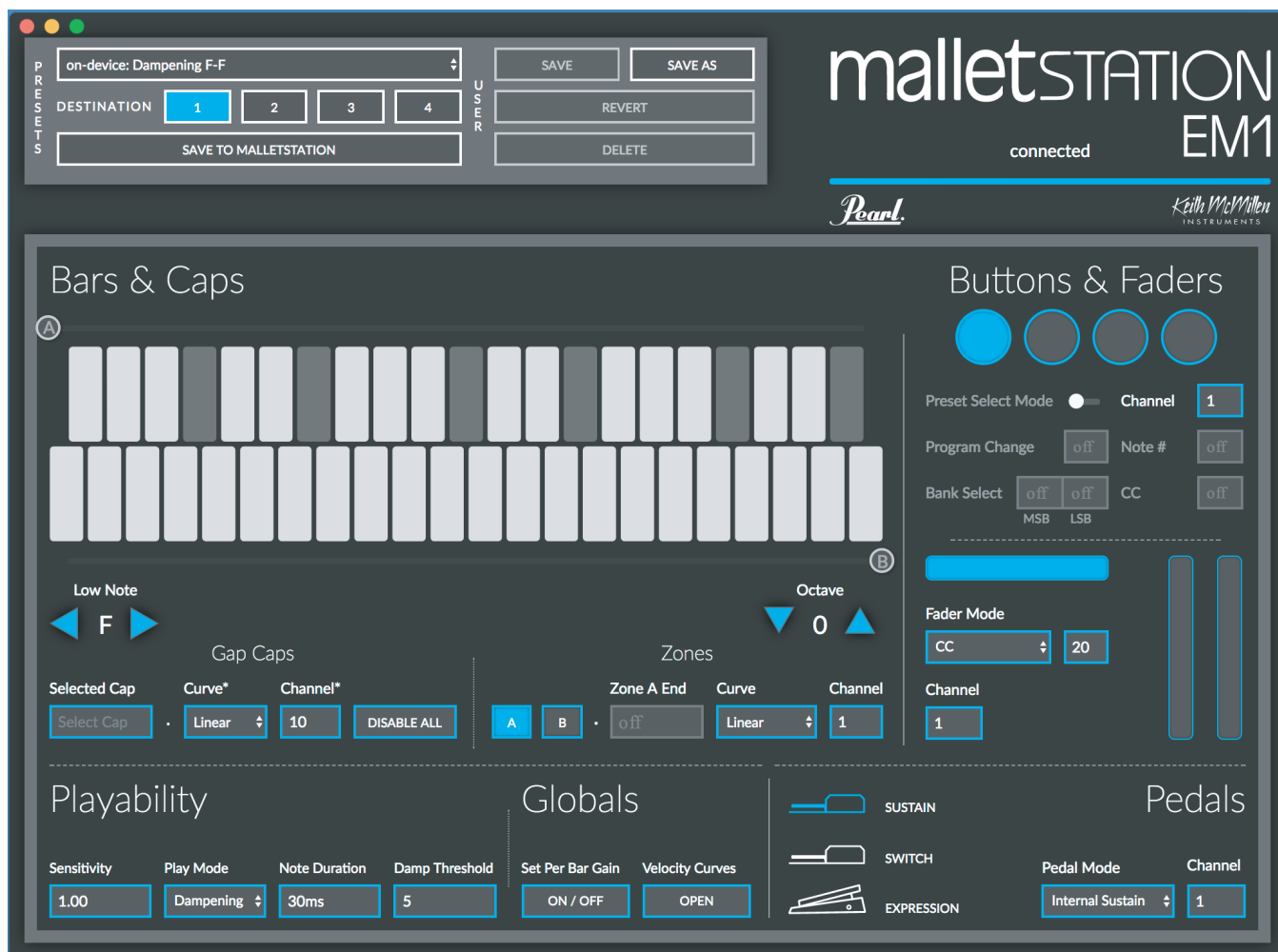
SustainとSwitchの入力端子は、標準的なピアノ・ペダル型のペダルが使用できます。

Expression入力端子には、連続的なコントロールが可能なもの（エクスプレッション・ペダルなど）を接続する必要があります。

※これらの割り当て機能は、ソフトウェア・エディターで変更できます。

参考：サスティーン・ペダルの極性は、対応機器の基準によって反転させる必要があります。

ペダルを踏まない状態で音が鳴り続ける場合には、ペダルの極性反転スイッチを切り替えてください。



ソフトウェア・エディター

malletSTATIONをより高度に利用するための機能や設定は、pearl-electronics-support.com/ からダウンロードできるソフトウェア・エディターで行います。

エディターには、オンラインで使用できるウェブ・ブラウザー・バージョンと、ダウンロードして使用できる単体バージョンがあります。気軽に利用する場合は、このエディターをインストールする必要はありませんが、将来的にも利用できるように、URLをブックマークしておくことをお勧めします。

テンプレート

標準的なオーディオ・アプリ (Apple Mainstage) や (PreSonus Studio One) など用にあらかじめ作成されたテンプレートが、pearl-electronics-support.com/ からダウンロードできます。

ダンピング・モード

初期状態のmalletSTATIONはダンピング・モードに設定されています。サステーン・ペダルを使用する音源を使用すれば、マレットでそれまで鳴っていた音を止めることができます。ソフトウェア・エディターを使えば、この設定をアフタータッチ・モードに変更できます。

レイテンシー

コンピューターによっては、搭載されているサウンドカードがオーディオ用として理想的とは言えない場合があります。レイテンシーに問題がある (スティックやマレットでバーを叩いてから音が出るまでの時間差が気になる) 場合には、ソフトウェアのオーディオ・バッファーの設定を確認するか、あるいは外部のUSBオーディオ・インターフェイスを使用する必要があるかもしれません。

この手の音遅れの原因はmalletSTATIONではなく、オーディオ機器やソフトウェアにあります。

Pearl malletSTATIONをご購入いただきまして、ありがとうございます!

Pearl